

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、千葉大学大学院医学研究院遺伝子生化学では、以下の病院で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用は、病理解剖標本については、ご遺族の同意が得られています。病理解剖標本以外の標本については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、千葉大学大学院医学研究院倫理審査委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**【研究課題名】** 新たな免疫染色抗体を用いた中皮腫診断法の開発

**【研究対象者】** 2015年1月1日～2022年8月31日までの間に、以下の病院で中皮腫あるいは中皮腫との鑑別が必要となる疾患と診断された方

**【利用している残余検体・診療情報等の項目】**

残余検体：パラフィンブロック（生検標本、手術標本、解剖標本、セルブロック）（うち、残余があるものに限る）から作製した薄切標本

診療情報等：診断名、年齢、性別、職業歴等

東京女子医科大学八千代医療センターおよび千葉労災病院のパラフィンブロックは東京女子医科大学八千代医療センターで薄切標本を作製し、免疫染色を行います。それ以外の病院のパラフィンブロックは、それぞれの病院で薄切標本を作製し、免疫染色を行います。診療情報等は千葉大学大学院医学研究院および東京女子医科大学八千代医療センターに集めて、染色結果とともに検討します

**【利用の目的】** （遺伝子解析研究：無） 新たな免疫染色診断法を開発することを目的としています。

**【試料・情報の保存期間】**

当該研究の終了について報告した日又は当該研究の結果について報告した日から、試料は5年、情報は10年を経過した日のいずれか遅い日までの期間、適切に保管します。

**【主な共同研究機関及び研究分担者】** （営利企業との共同：無）

東京女子医科大学八千代医療センター・病理診断科、教授、中澤匡男

千葉労災病院・病理診断科、部長、尾崎大介

国際医療福祉大学三田病院・病理/病理診断学、教授、石川雄一

結核予防会複十字病院・病理診断部、部長、岡輝明

福岡徳洲会病院・病理診断センター、センター長、鍋島一樹

JCHO 埼玉メディカルセンター・病理診断科、鶴岡慎悟

公立昭和病院・臨床検査科、濱川真治

**【利用期間】** 2022年研究実施許可後より2025年3月までの間（予定）

**【この研究での検体・診療情報等の取扱い】**

千葉大学大学院医学研究院倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等にはお

預かりした情報から氏名・標本番号を削除し、特定の個人が容易に識別できないように加工したデータに研究用の I D を付与して管理します。研究用 I D と氏名を一致させるための対応表は、各機関によって厳重に保管され、外部には持ち出しされません。

**[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]**

研究責任者：千葉大学大学院医学研究院 遺伝子生化学 特任教授 廣島健三

研究内容の問い合わせ担当者：千葉大学大学院医学研究院 遺伝子生化学 特任教授 廣島健三

電話：043-226-2036 （応対可能時間：平日9 時～16 時）

ファックス：043-226-2037                      Eメール：hiroshima.kenzo@twmu.ac.jp